

北辰 13期生
112回 2016 2 10
「歩こう会」

フォト・プレス

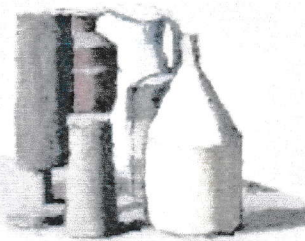
茨木市中村町
畝狭恒雄
072-633-6198

2016年初初めての「歩こう会」は20世紀イタリアを代表する画家ジョルジュ・モランディ展を観賞することになりました。

2月10日10時JR灘駅集合
幹事は畝狭、参加者は、前田さん、新本さん、谷村さん、岡田さん総勢6人。

駅前のミュウジアムロードを南下。すぐモランディのポスターがかかっている兵庫県立美術館に到着しました。

GIORGIO MORANDI
In the variation



ジョルジュ・モランディ展
「終わりのなき変奏」

さすが日本を代表する建築家である安藤忠雄氏の設計で堂々たる打ちっぱなしの壁面や緩やかなスロープは、感受性を高め瞑想へと誘う落ち着いた雰囲気のエントランスホールへと導きます。

場内は壺や水差しなどの静物画が多く展示されていて、描く器の種類もテーブルの上の位置も水平面の高さも同じでも器の数が変われば画面を浸す光で繊細な色ざかいやタッチが変化します。この様に形態や量感、



モランディは静物だけでなく花や風景も描き質量感を追求した作品も遺していました



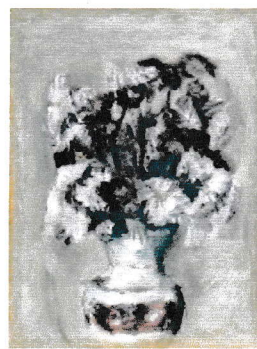
エントランスホール



100点余りの作品を鑑賞して少し疲れました。ロビーのベンチでひと休み。



モランディは静物だけでなく花や風景も描き質量感を追求した作品も遺していました



色彩も光によって変奏する。それを追求した作品です。と、このように解説されていました。



海の見える明るいホールでピアノの生演奏を聴きながらの食事は先のモランディ展とともにアカデミックな雰囲気にも包まれ満足しました。

1時間ほど談笑して美術館裏の波止で記念写真を撮り阪神岩屋駅で解散しました。



お昼近くになりましたので館内のレストランラピエールミューゼで昼食をとりました。